

次世代IPネットワーク推進フォーラム
研究開発・標準化部会 ホームネットワークWG
報告書

平成20年3月

目次

1 はじめに	1
2 ホームネットワークWGの目的	1
3 ホームネットワークWGの構成	1
4 会合の開催状況	1
5 今後の活動	5

1 はじめに

本報告書は、平成19年3月28日に開催された次世代IPネットワーク推進フォーラム研究開発・標準化部会(第2回)以降に開催されたホームネットワークWGの活動状況を取りまとめたものである。

2 ホームネットワークWGの目的

ホームネットワークWGは、次世代IPネットワーク推進フォーラム研究開発・標準化部会活動方針のもとに、利用者とユビキタスネットワークを結びつける次世代のホームネットワークについて、産学官が結集してホームネットワークの相互接続実験、実証実験等について総合的に検討すると共に、研究開発・標準化等を戦略的に推進することを目的として設置されたものである。

具体的な検討項目は以下のとおり。

- ・ 重要な標準化項目に関する研究開発の推進方策の検討
- ・ ホームネットワークに関する標準化及び標準化に必要な相互接続試験等の推進
- ・ ホームネットワークの標準化を円滑に進めるための普及啓発
- ・ ホームネットワークに関するフォーラム等関係機関との連携及び調整

3 ホームネットワークWGの構成

ホームネットワークWGの構成員は以下のとおりであり、その下にHNアーキテクチャSWG及びHN普及促進SWGが設置されている。

(構成員 52 機関 77 名(オブザーバを含む))

リーダー	北陸先端科学技術大学院大学	丹 康雄
サブリーダー	沖電気工業株式会社	高 呂 賢治
	株式会社ACCESS	星野 高志
	株式会社アドバンスト・ケーブル・システムズ	石原 浩志
	株式会社インテック・ネットコア	中井 哲也
	株式会社インテック・ネットコア	廣海 緑里
	エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社	和泉 俊勝
	エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社	松浦 高明
	エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社	近藤 芳展
	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	澤口 文彦
	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	大野 友義
	関西電力株式会社	谷口 正浩
	株式会社関電工	柏崎 和久
	株式会社関電工	加地 博光
	株式会社関電工	志水 裕
	クオンタムリープ株式会社	伊集院 直人
	KDDI株式会社	川内 晴雄
	KDDI株式会社	三浦 順
	株式会社KDDI研究所	堀内 浩規
	株式会社KDDI研究所	宮地 悟史
	三洋電機株式会社	畑山 佳紀
	シスコシステムズ合同会社	藤田 和宏
	株式会社システムウェアハウス	林 靖彦
	株式会社システムウェアハウス	韓 鳳永
	社団法人情報通信技術委員会	岩田 秀行
	社団法人情報通信技術委員会	
	次世代ホームネットワークシステム専門委員会	物理リンク層SWG主査
	独立行政法人情報通信研究機構(NICT)	鹿田 實
	独立行政法人情報通信研究機構(NICT)	張 兵
	独立行政法人情報通信研究機構(NICT)	山崎 達也
	情報通信ネットワーク産業協会	山上 敬
	スリーイーグルス株式会社	小澤 廣
	セイコーエプソン株式会社	小林 忍
	セコム株式会社	作田 健二
	総合警備保障株式会社	渡並 智
	ソニー株式会社	坂 靖人
	ソニー株式会社	瀧塚 博志
	ソフトバンクテレコム株式会社	真崎 博司
	ソフトバンクテレコム株式会社	早田 叔弘
		佐藤 敏行

株式会社ソリトンシステムズ	望月	匠博之
大和ハウス工業株式会社	吉田	哲裕
社団法人電波産業会	小林	信進
株式会社東芝	小田	功昌
株式会社東芝	太田	二則
株式会社東芝	渡邊	芳則
西日本電信電話株式会社	副島	良蔵
日本アイ・ピー・エム株式会社	木村	明久
JCTA日本ケーブルラボ	山下	正伸
社団法人日本CATV技術協会	杉本	昌幸
日本電気株式会社	新井	良則
日本電信電話株式会社	伊藤	勝典
日本電信電話株式会社	後藤	久幸
日本放送協会	青木	卓見
ノキア・ジャパン株式会社	山瀬	茂喜
パナソニックコミュニケーションズ株式会社	中川	克己
東日本電信電話株式会社	清水	春義
東日本電信電話株式会社	村上	雅仁
株式会社日立コミュニケーションテクノロジー	清久	正巳
株式会社日立コミュニケーションテクノロジー	広川	康太
株式会社日立製作所	西田	智宏
富士通LSIソリューション(株)	副島	文雄
株式会社富士通研究所	石原	英敏
株式会社富士通研究所	本田	吉雄
フリースケール・セミコンダクタ・ジャパン株式会社	岩佐	夫雅
松下電器産業株式会社	安本	寿隆
松下電器産業株式会社	池崎	哲也
松下電工株式会社	藤井	龍太郎
三菱電機株式会社	横谷	淳保
オブザーバ OSGi Alliance	川村	誠一郎
オブザーバ エコネットコンソーシアム	成田	誠二
オブザーバ エコネットコンソーシアム	山田	晋
オブザーバ エコネットコンソーシアム	松本	一成
オブザーバ ユビキタス・オープン・プラットフォーム・フォーラム(UOPF)	田島	直彦
オブザーバ ユビキタス・オープン・プラットフォーム・フォーラム(UOPF)	宮川	光博
オブザーバ 有限責任中間法人 P U C C	久保	浩史
オブザーバ 総務省	田原	
オブザーバ 総務省	萩原	
オブザーバ 総務省	川崎	
オブザーバ 総務省	山崎	

4 会合の開催状況

ホームネットワークWGは、本年4月の第4回会合から第13回会合までの計10回開催したところである。その概要は以下のとおり。

4.1 ホームネットワークWGについて

(1) 第4回ホームネットワークWG(平成19年4月20日)

計画SWGアドホック1の結果について

第3回ホームネットワークWGの決定に基づき実施したアンケートに基づき、想定するサービス毎の参照点モデルを計画SWGアドホック1で集中的に整理した。その結果、参照点の定義を明確にするアーキテクチャの技術的な検討とユーザ視点での普及促進の観点の検討が必要との考えに至った。

計画SWGの体制の見直しについて

計画SWGアドホック1の結果から、今後、技術的な視点とユーザ視点の2つを軸に検討を実施することになったことから、計画SWGを見直し、新たに、HNアーキテクチャSWGとHN普及促進SWGを立ち上げることを決定し、次回WGまでに参加希望者を募ることとなった。また、勉強会についても随時開催することが決定された。

(2) 第5回ホームネットワークWG(平成19年5月18日)

HNアーキテクチャSWG及びHN普及促進SWGの設置について

ホームネットワークWG開催にあたり、HNアーキテクチャSWG及びHN普及促進SWGの構成メンバーの紹介の後、主査、副主査の互選をおこなった。

・HNアーキテクチャSWG(HN WG . A)

主査 伊藤 昌幸(NTT)、副主査 山中 久幸(ノキア・シーメンス)

・HN普及促進SWG(HN WG . P)

主査 池崎 雅夫(松下電器)、副主査 伊集院 直人(クオタムリーブ)

WG文書規定の検討について

OUTPUT文書の扱について、事務局より暫定案の提示を行い議論を実施した。その結果、公開文書の扱いについて、制限付き文書として扱うことで、次回再検討することとなった。

勉強会の実施について

勉強会の実施について、取り扱う課題について検討を実施。QoS、NID、OSGi、UoPF等の課題について、WGメンバーに対し紹介を求めた。また、依頼にあたり事務局から行うこととなった。

(3) 第6回 ホームネットワークWG(平成19年6月19日)

HNアーキテクチャSWG及びHN普及促進SWGより検討状況の報告の後、次の議論を実施した。

調査アドホックの設置について

丹主査より、勉強会の企画グループとして調査アドホックの設置の提案があり、事務局よりメンバーを募集することが決定した。

文書管理規定について

事務局より、前回のWGの意見を踏まえ修正を行った文書管理規定(暫定案)を提示、当面、フォーラムとしての文書規定が明確になっていないことからWGにおいて暫定の規定として運用することとなった。

(4) 第7回 ホームネットワークWG(平成19年7月25日)

HNアーキテクチャSWG及びHN普及促進SWGより検討状況の報告の後、次の議論を実施した。

調査アドホックメンバーについて

前回、設置が決定した調査アドホックの主査としてNEC新井氏、構成メンバーをステアリング会議とて、WGリーダー、サブリーダー及び、各SWG主査で構成することが決定した。

その他

NEC新井氏より、HNアーキテクチャSWGで検討するアーキテクチャモデルについて、端末検討SWGとの情報共有の要望があった。

(5) 第8回 ホームネットワークWG(平成19年9月18日)

HNアーキテクチャSWGより、ホームネットワークの参照点と技術課題について検討結果を報告。一般に向けて公開することが決定された。

ホームネットワークのユースケース&シナリオに係るアンケート調査の状況報告を行った。

(6) 第9回 ホームネットワーク WG(平成19年10月22日)

ITU-T 勧告 J.190 の改訂について

6月のSG9後、勧告承認に向けたAAP手続きの中、BT及びFTからコメントが出されたが、10月16日に承認手続きが完了したことについて報告がなされた。

HN 普及促進 SWG のアンケート結果

ユースケース&シナリオに関するアンケートについて、最終的に31件(16社・団体等)から回答が寄せられたことについて報告がなされた。また、提案者から調査結果について詳細な説明を受けるとともに、意見交換を実施したことについて報告があり、アンケート結果のとりまとめと普及促進に向けたロードマップを作成する作業を行うメンバーの募集がなされた。

(7) 第10回 ホームネットワーク WG(平成19年11月26日)

事務局より、平成20年3月に(独)情報通信研究機構、総務省と共同で実施するホームネットワークの実証実験の概要について説明があり、実証実験テーマの募集についてアナウンスがあった。また、TTCが実証実験の事務局を担当することが報告された。

(8) 第11回 ホームネットワーク WG(平成19年12月20日)

HN 普及促進 SWG のアンケート結果

ユースケース&シナリオに関するアンケートを3月の実証実験を念頭に分類し、今年度中に実証実験を行うことが適当とされた7件の提案について詳細な分析を行うこととなった。

実証実験について

総務省より、3月の実証実験の募集、応募方法等に関して、総務省と本フォーラムの事務局であるNICTが同時に報道発表したことについて報告がなされた。

(9) 第12回 ホームネットワーク WG(平成20年1月28日)

HN アーキテクチャ SWG の活動報告

今後、早急に取り組むべきテーマとして、「QoSの確保と広域NWとのQoSの引き継ぎ」、「運用管理と故障対応」の2つの技術課題について検討をしていく旨の報告があった。特にリモートメンテナンスについてはUPnPで議論が活発化しているとのコメントがあった。

実証実験及びセミナーの実施

事務局より、実証実験及びセミナーの実施の詳細について説明があり、プレゼンテーション、機器展示について募集のアナウンスがあった。

(10) 第13回 ホームネットワーク WG(平成20年2月22日)

HN アーキテクチャ SWG の活動計画

「QoSの確保と広域NWとのQoSの引き継ぎ」、「運用管理と故障対応」の2つの技術課題について検討をしていく上で、方向性が明確になってきたことからHNアーキテクチャSWGの再編を行うことについて提案がなされた。

HN普及促進SWGの活動計画

平成20年度の活動計画について、関連する研究開発・標準化等の諸活動と整合・共有を図りつつ、前半に進化ロードマップを策定し、後半に将来ビジョンのデザイン策定に取り組むこと等が提案された。

4.2 SWGの開催状況

HNアーキテクチャSWG

平成19年5月以降、6回の会合を開催し、ホームネットワークのアーキテクチャモデル、参照点モデルについて議論を行い、来年度以降、「QoSの確保と広域NWとのQoSの引き継ぎ」、「運用管理と故障対応」の2つの技術課題について検討をしていくことで合意した。

HN普及促進SWG

平成19年5月以降、5回の会合を開催し、ユースケース&シナリオに関してアンケートを実施した。その結果をもとに、平成20年度以降については、進化ロードマップや将来ビジョンのデザインについて検討していくことで合意した。

4.3 勉強会の開催状況

平成19年6月以降、ホームネットワークWGのメンバーを対象に8回の勉強会を開催し、ホームネットワークに関連した様々なフォーラムやコンソーシアムの動向や、企業の取り組み等について講演をいただいた。

5 今後の活動について

HNアーキテクチャSWGについては、SWGの体制の見直しを行った上で、「QoSの確保と広域NWとのQoSの引き継ぎ」、「運用管理と故障対応」の2つの技術課題を柱として検討を行うこととする。一方、HN普及促進SWGについては、引き続き、今年度のアンケート結果を受けて 進化ロードマップ、 将来ビジョンの検討、 利用視点からの取り組み課題に係る調査に取り組むこととする。

ホームネットワークWGとしては、これらのSWGや勉強会等の活動をベースに来年度も引き続き、次世代ホームネットワークの実現による新しい市場の創出を目指して、 重要な標準化課題に関する研究開発の推進方策等の検討のほか、 相互接続試験や普及啓発に向けた取り組みとして次世代ホームネットワークによる新しいサービス・技術の実証実験の企画・実施、さらには 関係する標準化組織等との連携を図ることとする。

(参考資料)

- 1 研究開発・標準化部会 ホームネットワークWG設置要綱**
- 2 次世代ホームネットワーク実証実験の概要**
- 3 ホームネットワークWG年間活動総括表**